

馬主だより

第74号

平成27年10月9日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆賞金額が75万円を超えた場合マイナンバーの提出求められる！！

▼紅葉の季節を迎えました。旭岳はもう初冠雪が、十勝帯広では初霜が観測されるなど日増しに秋が深まっています。▼いよいよ今月5日から12桁の個人番号を割り当てるマイナンバー制度が始動いたしました。マイナンバーは一度交付されたら生涯ずっと使うことになる番号です。大切に保管し、決して忘れてたり紛失したりしないよう気をつけなければなりません。本来に必要な場合以外、むやみに他人に教えてはいけません。法律や条令で定められている用途以外では決して番号を提供しないようにしましょう！！▼個人事業主の場合、取引先からの報酬が一定の額を超えた場合「支払を受ける者」としてマイナンバーが必要になります。例えば馬主が受け取る競馬の賞金については、一年の中で1回でも支払賞金額が75万円を超えた場合、その年の賞金の全額について取引先側(ばんえい競馬の場合は帯広市)で「賞金の支払調書」を作成する必要がありますので、マイナンバーの提供を求められることになります。この場合に必要になるのは、個人事業主本人のマイナンバーになります。▼運用は来年以降となりますが、「支払を受ける者」としては、提供を求める立場を理解し、すみやかに関係書類のご提示にご協力をお願い致します。

平成27年度 ばんえい競馬 発売成績(総額)

開催76日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成27年10月5日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成27年度			平成26年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	76	755,845,500	705,639,900	76	760,271,600	107.11	99.42	
直 営 場 外	旭川北彩都	76	410,178,600	400,904,900	76	443,037,400	102.31	92.58
	ミンスポット北見	76	182,890,900	156,504,900	76	188,558,800	116.86	96.99
	ハロンス岩見沢	76	131,508,900	107,184,600	76	131,500,100	122.69	100.01
	ハロンス釧路	76	54,220,900	54,009,300	76	60,650,400	100.39	89.40
	ハロンス名寄	76	52,908,800	54,943,900	76	66,147,700	96.30	79.99
	アプスポット網走	76	43,643,100	54,194,600	76	58,391,200	80.53	74.74
	琴似駅前	76	75,272,500	66,012,600	76	65,001,300	114.03	115.80
	イルムふかがわ	76	60,609,000	60,475,300	76	61,923,600	100.22	97.88
電 投	オッズパーク	76	2,432,660,100	2,015,215,400	76	2,060,717,000	120.71	118.05
	OP(七重勝)	76	24,877,300	34,200,000	76	11,224,800	133.83	221.63
	OP(五重勝)	76	20,892,600		76	14,419,200		144.89
	競馬モール	76	1,827,759,300	1,284,973,000	76	1,346,077,700	142.24	135.78
	SPAT4	22	399,588,300	276,658,500	29	342,269,000	144.43	116.75
広域場間場外	—	602,753,800	567,200,600	—	593,142,200	106.27	101.62	
場外・電投計	—	6,319,764,100	5,132,477,600	—	5,443,060,400	123.13	116.11	
合 計	76	7,075,609,600	5,838,117,500	76	6,203,332,000	121.20	114.06	
1日平均		93,100,126	76,817,336		81,622,789	121.20	114.06	

平成27年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第13回6日目まで76日間)

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第13回5日目まで76日間)

情報・ご案内

○ 9月11日帯広市議会 産業経済委員会開催される！

～発売額順調から12月の補正予算で報償費増額の考え示す～

平成27年9月11日(金)帯広市議会ではばんえい競馬を所管している産業経済委員会(鈴木 正孝委員長)が開催されました。

ばんえい振興室より4月開幕から9月7日まで64日間のばんえい競馬の総発売額が59億8251万円で、予算対比122.22%、前年対比115.58%と順調に推移している事が報告されました。また、帯広競馬場及び直営場外発売所6箇所において発売しているJRA日本中央競馬会の発売額についても、今年度これまで46日間の1日当たりの発売額が前年度比127.72%の11,118千円で推移している他、JRA発売を含む他場発売全体でも前年度を8.54%上回る発売額となった事が報告されました。また、委員の質問に対する答弁の中で、帯広市は今後競走馬を維持していく上では、馬主の要望や生産者の生産意欲の向上に努めていかなければならないとの見解を示したうえで、今年度これまで順調に推移している発売額の状況から、このままでは予算を超過する見通しであり12月に提案する補正予算の中では、賞金など報償費の増額、改善を図りたいとの考えを示しました。

その他、帯広競馬場スタンド及びきゆう舎地区等の施設整備については、本年12月の耐震診断の結果を受けて、今後施設所有者の十勝農協連とも協議しながら予算、計画を立てて進めて行くこととなるが、実施する時期については来年度以降となる見通しを明らかにしました。

また、ばんえい競馬の経済波及効果の調査については、前回、帯広畜産大学にお願いをして実質的に約1年近く掛かって数字を出していただきましたが、今回、引き受けて頂けるかどうか、今後、その態勢も含めて帯広畜産大学に依頼する事を前提に具体的にお話をさせていただく予定であるとの説明がありました。

○ ハロンズ名寄、イルムふかがわJRA発売レース拡大！

～JRAの勝馬投票券8レース以降全レース発売開始～

※GIレースのみ前日発売を行います(他のレースの前日発売は行いません)。

ばんえい十勝の直営場外発売所ハロンズ名寄とイルムふかがわでは、本年9月12日(土)よりJRAの勝馬投票券の発売・払戻を第8レース以降全てのレースに拡大となりましたのでお知らせいたします。お近くにお住まいの方はぜひお立ち寄りください！！

【発売場所】

- | | |
|----------------------------|------------------|
| ① J-PLACE 帯広(帯広競馬場) | 帯広市西13条南9丁目 |
| ② J-PLACE 旭川北彩都(レラスポット北彩都) | 旭川市南6条通20丁目 |
| ③ J-PLACE 北見(ミントスポット北見) | 北見市小泉408 |
| ④ J-PLACE 釧路(ハロンズ釧路) | 釧路市若松町2番13号 |
| ⑤ J-PLACE 琴似駅前(琴似駅前場外) | 札幌市西区琴似2条1丁目三光ビル |
| ⑥ J-PLACE 名寄(ハロンズ名寄) | 名寄市西1条南8丁目1-1 |
| ⑦ J-PLACE ふかがわ(イルムふかがわ) | 深川市3条22番26号 |

【発売レース】

帯広競馬場・レラスポット北彩都・ミントスポット北見・ハロンズ釧路・ハロンズ名寄・イルムふかがわでは、JRA各競馬場の第8レース以降すべて発売(3場開催時最大15レース)
また、琴似駅前場外では、JRA各競馬場のメインレースのみ発売(3場開催時最大3レース)

○ 尾ヶ瀬馨騎手 通算2000勝達成 おめでとうございます！！

尾ヶ瀬馨騎手(50)は、2015年9月12日(土)の第11競走においてコサカコブラ号に騎乗して優勝。

1万9837戦目にして通算2000勝を達成しました。ばんえい競馬史上11人目、現役では4人目となりました。

尾ヶ瀬騎手は1965年2月19日札幌生まれで父は富雄調教師。92年4月18日に騎手デビューを果たし、今年で24年目を迎えました。これまで重賞競走29勝を挙げ、1992年には、日本プロスポーツ大賞を受賞しています。

尾ヶ瀬 馨(おがせかおる)騎手プロフィール ※2015年9月12日(土)11R終了時点	
生年月日	1965年2月19日(50歳)
出身地	北海道札幌市
本年度成績	308戦 24勝
通算成績	19,837戦 2,000勝(うち重賞29勝)
初騎乗	1992年4月18日(騎乗馬:キンメモリー号)
初勝利	1992年4月18日(騎乗馬:ヒメカツラ号)
主な戦績	1998年ばんえいオクス・ばんえいダービー、2001年イレネー記念、 2008年ばんえいダービー、2009年帯広記念、2010年帯広記念
受賞歴	1992年 日本プロスポーツ大賞 新人賞

○ 【お知らせ】 秋の帯広市内を馬車で観光はいかがでしょう？ ～スイーツめぐり券付き！秋のばん馬馬車運行実施中～

本年9月からスイーツめぐり券付きの帯広競馬場発着でばん馬馬車運行を実施しております！！ばん馬馬車に乗って秋の帯広市内を観光してみませんか？

申込には事前予約が必要です。詳細については以下のとおりです。

【帯広競馬場イベント概要】

■スイーツめぐり券付き！秋のばん馬馬車運行

【日時】(今後の予定)

10月18日(日)、24日(土)、25日(日)、31日(土)

【運行時間】

帯広競馬場 発	12:30	→	夢の北広場 着 (駅北多目的広場)	13:00
夢の北広場 発 (駅北多目的広場)	13:30	→	帯広競馬場 着	14:00

※時間が変更になる場合があります。

【料金】往復500円(中学生以上)※小学生以下無料

・スイーツめぐり券(500円分)付き

※小学生以下は付きません

・片道のみ利用も可能(料金は同じです)

・予約時に「往復」または「片道のみ」をお伝えください。

【申込方法】電話にて予約を受け付けます。

受付：帯広競馬場 広報担当 0155-34-0825(代)

※火・金曜日 9:30～18:15

※土・日・月曜日（ナイター開催日）12:30～21:15

※水・木曜日 定休日

【乗車人数】20名

【備考】

・小学生以下のみの乗車はご遠慮ください。必ず保護者の方と利用ください。

・雨天、荒天時など路面状況によって中止する場合がございます。

【主催】十勝ファームツーリズム等 推進協議会（事務局連絡先 0155-65-4169）

【運営】株式会社ティワイネット

※イベント内容は事情により変更となる場合があります。

○ “重要事項のお知らせ”馬登録申請11月1日から受付開始！！ ～来年1月以降申請時には譲渡を証明する書類提出が必須！～

平成27年度の馬登録申請の日程が、別紙「馬登録申請日程」とおり地方競馬全国協会から通知がありましたのでお知らせ致します。

申請に際しては、必ず預託予定の調教師を通じ必要書類を添えて期日までにお願致します。

【申請月日】平成27年11月1日（日）～28年2月29日（月）

【申請場所】帯広競馬場 地方競馬全国協会駐在員詰所（発走員室）駐在員勤務日

【登録料】一頭につき2,000円

馬登録申請に関するお問い合わせ

0155-34-0825（帯広競馬場代表）

地方競馬全国協会 駐在員 佐々木 智

注：駐在員の勤務日は別途競馬場に掲示しています。申請に際しては、あらかじめ調教師にご確認ください。

また、先にもご案内のとおり地方競馬全国協会では、競馬法で禁止されている馬主名義の貸借防止と公正確保の強化徹底を図るとともに競走馬の売却に係るトラブルの回避を目的として、平成27年1月1日から馬登録・馬主変更時に売買契約書の写し等、譲渡を証明する書類の追加提出を求める取扱い変更を実施しています。

平成27年1月1日から同年12月31日までは追加提出の猶予期間として、譲渡を証明する書類の追加提出がなくても、これまでどおり取り扱っていますが、**平成28年1月1日からは「売買契約書の写し等、譲渡を証明する書類の追加提出」が必須となります。**

生産者と直接譲渡取引を行った場合、馬主間での譲渡取引（有償・無償を問わない。）や交換により所有する事になった場合、家畜市場で売買取引を行った場合には、必ず売買契約書などを貰いましょう。（ただし、ホクレン等家畜市場においては、家畜購買書など馬名、販売者、購買者などが明記された書類であれば有効です）

譲渡を証明する書類内容の要件は次のとおりです。

①「売買契約書の写し」の場合

売買取引の対象馬が特定でき、また、譲渡元、譲受人両者が特定でき、両者の記名・押印によって交わされた売買契約書のコピー

②「領収書写し」の場合

売買取引の対象馬が特定でき、また、譲渡元、譲受人両者が特定でき、譲渡元の記名・押印によって交付された領収書のコピー

③「譲渡証明書」の場合

NARが作成した標準書式を利用(必要事項を満たせば、標準書式でないものも可)。譲渡元の記名・押印が必要(認印可)。コピー提出は不可

注：NARが作成した標準様式は別紙のとおり

今後、馬主が譲渡取引をする場合においては、必ず上記の売買契約書の写し等、譲渡を証明する書類を事前に準備しておきましょう。来年1月以降は、この譲渡を証明する書類が提出されなければ、馬登録・馬主変更の申請は受付出来ない場合もございますので、会員各位におかれましては十分ご理解とご注意願います。

注：上記の件に関するお問い合わせは、当協会（電話：0155-41-8818）ないし地方競馬全国協会 審査部登録課（電話：03-3583-2142）までお願いいたします。

○ 平成27年度「ばんえい十勝」下期の朝調教ツアー実施中！！

10月～翌年3月までの朝調教ツアーの日程について

上期の朝調教ツアーは、重賞競走開始日に合わせて実施しており好評を得ております。下期は同じく重賞競走開催日の他、12月下旬からは毎週日曜日に朝調教ツアーを受け付け致します。

■朝調教ツアー

【実施日】 ① 12月28日までの重賞レース開催日

10月11日「ナナカマド賞」前日

10月25日「北見記念」

11月1日「ばんえい菊花賞」

11月8日「クインカップ」

11月22日「ドリームエイジカップ」

11月29日「ばんえいオークス」

12月20日「ばんえいダービー」

12月27日「ヤングチャンピオンシップ」前日

② 2016年1月3日以降、3月20日までの毎週日曜日

2016年1月3日、10日、17日、24日、31日

2月7日、14日、21日、28日

3月6日、13日、20日

③ 2016年1月1日

【開始時間】 10月11日～11月8日 午前6:00開始(所要:1時間程度)

11月22日～1月31日 午前6:30開始(所要:1時間程度)

2月7日～3月20日 午前6:00開始(所要:1時間程度)

【プラン】

1. 調教ツアー

2. プレミアムラウンジ利用券(有効期限:来場週の土曜日または日曜日)

3. おみやげ付き

【料 金】 お一人様2,000円 小中学生500円(小学生未満無料)

【定 員】 各回15名

【利用方法】 朝調教ツアーはプレミアムラウンジ利用のセットとなります。

【申込方法】 電話にて予約を受け付けます(締切:実施前日の土曜日18:00)

受付:帯広競馬場 広報担当 0155-34-0825(代)

※水・木曜除く9:30～18:15 ※土・日・月は開催時間内

【お支払方法】 ○当日日曜日ご来場の場合 朝調教集合時にお支払

○前日土曜日ご来場の場合 プレミアムラウンジ利用はプレミアムラウンジにてお支払

【備 考】 悪天候等により実施に危険が伴うと主催側で判断した場合には、ツアーを中止とする場合がありますのであらかじめご了承願います。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
8月15日	第27回 ばんえいグランプリ	フジダイビクトリー	(株)三上建設	皆川 公二
8月30日	第27回 はまなす賞	コウリキ	小縄 久司	久田 守
9月14日	第51回 岩見沢記念	オイドン	佐々木啓文	鈴木 邦哉
9月20日	第23回 銀河賞	カイシングキ	丹治 満夫	槻館 重人

優勝おめでとうございます！！

◆ 第27回ばんえいグランプリ（3歳以上オープン ファン投票選抜）

単勝1番人気のフジダイビクトリーが優勝。昨年に続く、このレース連覇を果たしました。

昨年のこのレースの勝ち馬で、今季も北斗賞制覇、旭川記念2着と充実ぶりを示すフジダイビクトリーが1番人気。前走のとかちえぞまつ特別で復調を示したオイドンが続き、5歳馬オレノココロ、コウシュハウンカイが3、4番人気。実績馬インフィニティーが8.3倍の5番人気と、この5頭が単勝ひと桁台で、拮抗した人気となりました。馬場水分も1.5%と力の要る状態となり、今季前半の一大一番として、これ以上ない舞台が整いました。

道中はキタノタイショウ、オレノココロ、フジダイビクトリー、インフィニティーあたりが先行しますが、この時期の800キロ戦に加え、乾いた馬場ということもあり、ゆったりとしたペースで推移。各馬とも再三脚を止め、慎重に進んでいきました。第2障害下でも各馬ともじっくりため、ようやく動いたのはフジダイビクトリー。インフィニティー、キタノタイショウ、オレノココロなど、先行していた各馬がこれに続きます。しかし、フジダイビクトリーがひと腰でこれをまとめて先頭クリア。インフィニティーも1馬身ほどの差で続き、やや遅れてオレノココロも追撃態勢に入ります。先頭を行くフジダイビクトリーは余裕の脚いろ。むしろ追うインフィニティーが苦しくなり、残り30メートルを切ったあたりで脚を止めてしまいます。代わってオレノココロが2番手に浮上しますが、先頭のフジダイビクトリーはグングンと加速。そのままセーフティーリードを築き、重い馬場に苦しむ各馬を尻目に先頭でゴールを果たしました。

勝ち馬と同じような脚いろで刻んできたオレノココロでしたが、早め早めの競馬が最後に響いたか、残り5メートルあたりから失速。その間隙を突いて伸びてきたのが障害4番手クリアのコウシュハウンカイで、抜群の末脚であっさりオレノココロをかわし2着で入線しました。最後まで踏ん張りを見せていたオレノココロでしたが、ゴール寸前で突っ伏してしまうアクシデント。その間にインフィニティーが入線して3着となり、結局オレノココロは立て直しに時間がかかり6着となりました。

勝ったフジダイビクトリーは、今の充実ぶりを示す圧倒的なレースぶり。テンの行きっぷりに加えて抜群の登坂を見せ、最後まで危なげなく後続を突き放すという、非の打ち所がない内容でした。ただ、昨年はこのレース制覇後が今ひとつの成績。今後のレース内容に真価が問われることとなるでしょう。

2着のコウシュハウ McKay は旭川記念制覇を含め、今季の重賞で【1・2・0・1】。古馬一線級が相手でも互角以上の力を示しています。まだ5歳と若いだけにさらなる成長も見込めそうので、引き続き注目していきたい一頭です。

インフィニティーが3着。持ち前の堅実なレースぶりは健在で、今後も力の要る馬場状態では軽視禁物です。

◆ 第27回はまなす賞（3歳・4歳オープン）

単勝3番人気のコウリキが優勝。条件戦3連勝の勢いそのままに、重賞初制覇を果たしました。

イノリノチカラが出走取り消しとなり、9頭立てとなりました。昨年のばんえい大賞典馬で7連続連対中と勢いに乗る4歳馬カインゲキが断然の1番人気。ビッグウエイトカップ制覇など牝馬らしからぬ活躍を見せるキサラクが2番人気で、充実ぶりを示すコウリキが差のない3番人気。以下はやや離れたオッズとなり、三つどもえの様相を呈しました。馬場水分1.3%でゲートオープン。

道中はカゲホウトウとコウリキが先行するような形になりましたが、他馬も遅れず追走。力の要る馬場となったためか、各馬が自分のリズムで運んでいる印象で、ゆったりと刻みながら第2障害を迎えました。

じっくりためたのち、最初に仕掛けたのはカゲホウトウで、カインゲキとコウリキも登坂を開始。なかでもカゲホウトウが抜群のかかりを見せ、ひと腰で障害を突破します。やや遅れて仕掛けたキンメダルが2番手で、アアモンドセブン、コウリキ、キサラクと、次々とクリアしていきました。先頭クリアを果たしたカゲホウトウでしたが、脚どりは今ひとつ。キンメダルとコウリキが一気に襲いかかります。特にコウリキが目を見張るような末脚を發揮。グイグイと差を詰め、そして残り10メートルを切ったところで先頭に躍り出ます。懸命に食い下がるカゲホウトウとキンメダルでしたが巻き返しはならず、最後は2秒差をつけてコウリキが先頭ゴールを果たしました。カゲホウトウが2着に粘り、さらに1秒1差の3着にキンメダルが入線しました。

コウリキは重量面で多少恵まれていたのかもしれませんが、それでも最後のひと伸びはこの馬の勢いと底力を示すもの。さらに、ばんえい菊花賞、そしてばんえいダービーに弾みをつける勝利とも言えるでしょう。今後も3歳戦線の台風の目として、楽しみな存在です。

◆ 第51回岩見沢記念（3歳以上オープン）

単勝4番人気のオイドンが優勝。2013年1月の天馬賞以来となる重賞6勝目を挙げました。

勢いのある5歳馬オレノココロとコウシュハウ McKay が人気に推され、堅実なレースぶりを見せているインフィニティーとオイドンが続くオッズ。重量を積まれた若駒に対し、古豪が意地を見せるのか、馬場水分2.9%のなかスタートが切られました。

道中はトレジャーハンターやインフィニティーがペースをコントロール。これにキタノタイショウ、ホリセンショウあたりが加わり、一進一退の攻防を繰り広げます。ただ、他馬も離されることなく続いて第2障害を迎えました。先に障害に取りついていたインフィニティーとホリセンショウが最初に仕掛け、ひと呼吸置いてオレノココロ、オイドン、ホクショウユウキも登坂を開始。そのなかからインフィニティー、オレノココロ、オイドンがほぼ並ぶようにして先頭で突破します。ホクショウユウキ、ホリセンショウも少し遅れてクリアし、コウシュハウ McKay がその後ろ。勝負のゆくえは、この6頭に絞られました。

しかし、残り30メートルの手前で抜け出した2頭、オレノココロとオイドンの脚いろは軽快。馬体を併せながら、グングンと他馬を引き離します。その2頭の争いも終始オイドンがアタマ差からクビ差ほど前に出て抜かせず、息の詰まるような叩き合いを展開。そして残り10メートルを切ったあたりで、オレノココロの脚いろが若干鈍って決着。オイドンが先頭でゴールを果

たし、伝統の岩見沢記念の勝者として名を刻みました。2着はオレノココロで、さらに8秒8差の3着にインフィニティーが入線しました。

前述の通り、オイドンは重賞6勝目。ただ、これまでの5勝はすべて世代限定重賞で、古馬重賞は初制覇となりました。5歳馬に比べて重量面で恵まれたのは否めませんが、2歳時から活躍してきた同馬の復活は明るい話題。最後まで抜かせなかったレースぶりも良く、今後の活躍が期待されます。

2着のオレノココロは北斗賞2着に続く重賞好走。しかも10キロ余計に課せられていただけに、価値のある2着といえます。負担重量がさらに増えてどうか、という不安はありますが、今後も目が離せない存在であることは間違いありません。

◆ 第23回銀河賞(4歳オープン)

単勝1番人気の**カイシゲキ**が優勝。昨年のばんえい大賞典以来となる重賞2勝目を挙げました。

重量と実績のバランスを重視されたか、人気は山鳩賞の1、2着馬とともに720キロのカイシゲキとカンシャノココロに集中。前走の条件戦を勝ったゴールデンフジ、アサヒメイゲツがこれに続きましたが、ともにオッズは2桁台。一騎打ちムードのなか、馬場水分2.4%でスタートを迎えました。

スタートでホクショウマサルが多少モタついたものの、各馬ほぼ横一線で第1障害を通過。そのままの態勢で中間点も通過しましたが、その後にゴールデンフジ、ホクショウメジャー、カゲホウトウ、カンシャノココロの4頭が抜け出し、2グループに分かれた形で第2障害を迎えました。最初に仕掛けたのはホクショウメジャーで、カゲホウトウ、カンシャノココロも続きます。なかでもカゲホウトウの掛かりが良く、先頭で障害を突破。差なくカンシャノココロ、ホクショウメジャーもクリアし、センゴクイチ、カイシゲキ、ゴールデンフジも圏内で追撃態勢に入ります。

残り30メートルの手前で、6頭横一線の状態から力強く抜け出したのはカイシゲキ。次元の違う末脚を繰り出し、他馬をグングンと引き離しにかかります。残り10メートルでは3馬身ほどの差をつけ、独走状態に。結局、そのまま押し切って先頭でゴールを果たしました。注目の2着争いは残り20メートルで抜け出したカンシャノココロに軍配。3着には、ゴール前でわずかに抜け出したセンゴクイチが入りました。

前走のはまなす賞こそ7着に敗れたカイシゲキでしたが、今回は圧巻のレースぶりで勝利。21キロの馬体増がそのままパワーアップにつながったような、ワンサイドレースを展開しました。着実な成長もうかがえるだけに、今後の世代重賞でも要注目の1頭になるでしょう。カンシャノココロはこれで5連続連対。成長の度合いではこちらも負けておらず、積極的に運んだレースぶりにも見どころがありました。引き続き目が離せない存在となりそうです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。